

2019

JAしまねびより

1

January Vol.34

特集 島根のいいもの再発見!! 「津和野町 榎(さかき)」 西いわみ地区本部

来月の
外勤日は

2月16日(土)



大藪谷稲成神社
の賑わい(津和野)

Naomichi

 JALまね 斐川地区本部版



謹賀新年

皆様のご健康と

ご多幸と

心よりお祈り

申し上げます

代表理事組合長

竹下

正幸

代表理事副組合長

山根

盛治

代表理事専務

高木

賢一

代表 監事

松浦

宗和

役員一同

新年あけましておめでとうございませす。

組合員の皆様には、新しい年を穏やかに迎えることとお慶び申し上げます。

今年も無事に新年を迎えられましたのも、組合員の皆様をはじめ、地域の皆様のご理解とご協力の賜物と心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月の大雪や4月の地震、7月の豪雨や9月から10月の台風被害など、県内でも多くの被害が発生いたしました。被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、今後も復興に向けたご支援をさせていただきますと思います。

事業運営につきましては、「第1次中期経営計画」と「農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、前年に引き続き「儲かる農業の実現」を念頭に、自己改革の3本柱である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を最重要課題として、取り組んで参りました。

営農関係では、新設した販売戦略室により、品目横断的に販路開拓に努め、新しい商品企画や輸出や都市圏での販売など、販売を起点としたものづくりを進めました。また、米については生産調整の

見直し初年度を迎えるなかで、事前契約比率の向上を重点的に進め、畜産では県央畜産総合センターや隠岐地区の二つの市場整備など、基盤強化の取り組みも着実に進めているほか、担い手育成や経営指導にも力を入れました。

地域の活性化では、地区本部を核として女性組織、青年組織等と連携を図りながら、食と農を基軸としたくらしの活動に取り組み、各地域でJA・支店まつりや組合員セミナー、農業体験、生活文化教室などを開催し、多くの組合員・地域の皆様に参加していただく機会づくりに努めました。

また一方で、「運営体制改革」「事業改革」についても最重要課題と位置付けて取り組み、昨年11月に開催した臨時総代会では、次の役員改選から理事数を現行の65人から40人とし、このうち常勤理事を33人から17人に、非常勤理事は32人から23人に、監事を9人から6人に削減する役員体制と、運営委員会の再構築と強化を含む新しい運営体制に関する議案をご承認いただきました。今後は車の両輪としての事業改革を早急に進め、一層の統合メリットの発揮、効率化を進め、組合員の皆様への還元に努めて参りたいと考えております。

さて、本年は現在策定を進めている「第2次中期経営計画」と「第2次農業戦略実践3カ年計画」の初年度となりますが、農業やJAを取り巻く環境は日欧EPA、TPP11の発効、米国とのTAGなど大変厳しい中での計画となります。そのうえ、5月には「農協改革集中推進期間」の期限が到来します。政府はJAの自己改革の実施状況等を調査し、その結果次第では信用・共済事業の分離や准組合員の事業利用規制を視野に、更なる農協改革圧力を強める懸念もあり、JAは重要な局面を迎えます。

このように大変厳しい経営環境の中ではありますが、今後も組合員の皆様との話し合いの機会を多く設け、いただいたご意見を事業に活かす、皆様から選ばれて、信頼され、ご利用いただけるJAに向けて、役員が一体となり取り組んで参りますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組合員、地域の皆様にとりまして、本年が幸多い一年でありますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成31年1月

代表理事組合長 竹下 正幸

新年のごあいさつ



斐川地区本部 常務理事 本部長

山根 善治

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、お健やかに新年のよき門出をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、当地区本部に對しまして、深いご理解のもと格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、大雪や地震を始め自然災害が立て続けに当地域を襲った年でございました。被災された皆様には、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、今年が穏やかな年であることを祈念いたします。

さて、斐川地域では「斐川町地域農業再生協議会」により、平成30年から5年間の計画期間とした地域農業ビジョン「斐川元気農業推進計画」を策定し、担い手が大半を占める営農体制や、基盤整備の進んだ農地を最大限に活かした取り組みを進めていきますが、一方で小規模農家さんへの注力も進め、バランスの取れた農業生産基盤の強化が必要と考えています。

また、今年は「農協改革集中推進期間」の最終年であり、JAにとって大きな変革の年になると予想されます。

当地区本部では、現在取り組んでいます自己改革をさらに進め、組合員の皆様との話し合いの機会をより多く設けるべく、我々役員の担い手さん訪問や、2月からは職員による組合員さんへの全戸訪問によるアンケートを実施する予定にしておりますので、ご協力いただきますようお願いいたします。さらに、今年も業績還元金を活用し、各種イベントや協同活動により地域内交流の活性化を図り、好評をいただいている「学びの広場」によるテーマ別研修も引き続き開催したいと考えています。

昨年末にはTPP11が発効され、グローバル化にさらに拍車がかかり、農業にとっては厳しい状況が続きます。役員一同引き続き地域から信頼され、必要とされる斐川地区本部を目指し業務に精励してまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、ご多幸でご健勝の一年になりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



12/14 ご来店感謝デー(各支店)

〈荘原支店〉

来店者へはとむぎ茶とティッシュ1箱の無料配布を行ないました。また、支店内に設けた特設ブースでは、グリーンセンターの出荷者協議会会員の新鮮な野菜が販売されるなど、開店時から多くの来店者でにぎわいました。



〈出東支店〉

はとむぎ茶や女性部出東支部手作り豚汁の無料配布、はとむぎ商品、中酪牛乳セットが当たる抽選会が行われました。当日は朝からたくさんのお客様で賑わい、具だくさんの豚汁を食べると「とても美味しい豚汁で、心も身体も温まりました」と笑顔が見られました。豚汁の配布は今年で3年目をむかえ、年々来店者も増えてきており出東支店の冬の風物詩として定着しつつあります。



〈斐川中部支店・新川中央店〉

あかつきファーム今在家の皆さんの協力の下、特設ブースでついた、つきたてのよもぎもち3個入り300パックが来店者の皆様に配られ、また、窓口で待つお客様には、三代運営委員手作りの漬物も振舞われ、来店者同士が談笑する様子も見られました。また、支店入口ではライフサポート24のPR活動も合わせて行われ大盛況の企画となりました。



〈伊波野支店〉

はとむぎ茶の無料配布が行われ、ひかわ医療生協伊波野支部の皆さんには、支店会議室を利用したカフェを開いていただきました。煎茶やお菓子、手作りの漬物などで来店者の方々をもてなしていただき、また、出東ハンドベルクラブの皆さんの演奏も行われ、ご来店いただいた方々は、穏やかなひと時を過ごされていました。



〈出西支店〉

ハトムギチョコレートやコーヒーなどはとむぎ商品が当たる抽選会が行われ、朝から行列ができるほど賑わいました。また、斐川町の特産であるハトムギについてのPRも行われ、来店者からは「いろいろな企画をしていただき楽しみにしている。斐川町の活性化につながります」といった声も聞かれました。当初用意していた商品も急遽追加で用意するなど、午前11時頃には完売となるほどの大好評の企画となりました。



あぐり探検隊完結！

12月16日、斐川地区本部では今年度最後の活動となる「あぐり探検隊」が開かれ、隊員19名が餅つきと蕎麦打ち体験を行いました。隊員自ら田植え、稲刈りを行ったもち米を使用し、事務局と斐川女性部の協力の下、臼と杵を使って餅つきが行われ、隊員たちは楽しそうに力強く杵を振り下ろしていました。また、斐川産の蕎麦粉を使用した蕎麦打ちでは、荘原地区の高橋義孝氏と糸賀充氏の指導の下、隊員たちは真剣に蕎麦打ちを学びました。同地区本部では次年度以降も様々な活動を通して子どもたちに食農教育を進めていきます。



ミ二門松で正月を迎える準備

12月26日、JAひかわ女性倶楽部ソレイユの部員29名が、ミ二門松作りには挑戦しました。久木地区の江角俊明さんが講師を務め、土台となる直径15センチほどの竹に砂を詰め、3本の小さな竹を刺し、葉牡丹を紅白に見立て松やナンテン等と一緒にバランスを整え完成させました。参加者は「自分でバランスを考えながら作るのが楽しい」「正月を迎える気分になってきます」と話し、家族の無病息災を願い、個性を活かしたミ二門松がそれぞれに出来上がりました。



島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいものの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【津和野町 榊(さかき)】

1月は、西いわみ地区本部。鹿足郡津和野町で、神事や神棚に使う榊の栽培に取り組む、商人(あきんど)榊生産組合長の田中幸一さんにお話しをお伺いしてきました。



雨の中、榊が育つ山の中で色々とお話をいただきました。

榊を栽培するきっかけを教えてください。

昭和48年、20歳の時、荒茶生産の専業農家として経営を引き継ぎました。旧日原町の商人(あきんど)集落は中国山地の山あいであり、ほとんどが森林で平坦な農用地は1パーセント未満と農業が不利な中山間地です。当時から高齢化が進み人口は減少、何とかしなければならぬと何度か集落で話し合いました。地区にたくさんあるものは、広大な里山と高齢者の労働力。掛け算の原理でこのたくさんあるもの同士を掛け合わせることであればより大きな核となる特産品を創り出すことができます。里山を活用できるものには何があるのか。集落で出した答えは榊でした。榊なら広大な里山を農用地として見立てることができ、稲作のようにコンバインなど機械を乗り回す必要がない。ハサミとカゴのみで高齢者が無理なく作業できる。当時は山に自生する榊を切り取って販売する人はいましたが、計画的に植栽し栽培ものとして生産している人はいませんでした。それならば、一大産地化を目指し農家全員で取り組もうと平成元年に集落の全21世帯(2世帯は非農家)のうち、19戸で「商人榊生産組合」を設立。短期的にはタラの芽などの山菜、長期的には榊をと、平成生まれの特産品を作っていこうと動きだしました。第1次に6.8ha、その後2、3次と造成し最終的には8ha弱の面積で約3万本を植栽し生産を開始しました。



商人地区、急峻な中国山地の谷間に里山の暮らしを見せてくれます。

榊の栽培や収穫はどのようにするのですか？

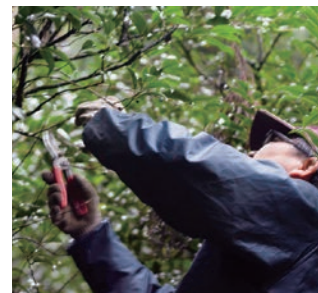
ハシゴを使って収穫する必要がないようになるべく樹高を低く仕立てます。樹齢5年辺りから収穫できるようになり、ハサミを持ち、カゴを背負って山で枝を収穫していきます。持ち戻った枝は葉の汚れなどを洗浄した後、虫食いや葉の形が悪いもの、欠けているものなどを見極め、綺麗な枝ぶりのものだけに振り分けます。大きさは枝ぶりなどで5種類くらいに分け神棚等に立てる

里山に降ろそうとスコップな
 最初の数年は在来種の榊を
**これまでに大変だったことや苦労
 してきたことなどありますか？**

前提で高さ30cm、底辺が25cm
 の2等辺三角形になるように
 数本を束ねた後、水揚げ・保
 水処理を行い出荷します。益
 田市と浜田市のほか、広島市
 の市場に出荷しています。



より良い商品にという想いが、市場に評価される高い品質を保つ秘訣につながっている。



タイムスリップしたかのような風景も、様々な努力と工夫が脈々と受け継がれてきた証なのかも。



作業しやすいよう整備された里山に榊が立ち並ぶ。近いからこそ手入れが行き届き、その努力と時間が立派な畑に。

ど持って苗を探して山奥まで取りに行っていました。先端の細かい毛細根まできちんと取らなければならず、重労働かつ効率が悪く「これじゃだめだ」と痛感しました。そこで種苗会社4、5社から数種の苗木を取り寄せ、それぞれの世帯で東西南北や日照時間の違う条件で榊を植えて品種を比較、集落に合った榊を選び植栽をはじめました。先進地で勉強する機会がもてないため、栽培方法から病気や害虫の種類や対策まで試行錯誤を繰り返しながらこれまで行ってきました。幸い、榊はお茶と同じツバキ科の植物だったので親しみが有り、これまでの経験が生かせる時がありました。榊の生産は今年で30年目になりますが、生産者全員の頭の中にあつた知識を体系化した栽培マニュアルは、近年になってようやく新規生産者に渡せるようになりました。大変な作業の1つには、点在する榊の場所まで肥料を持って行き散布するのが労力を要します。

市場での評価はいかがですか？

しっかりと肥培管理している
 ので葉の色ツヤがよく、加えて日持ちが良いと高く評価をいただいています。お客様の中には水に入れていたら発根したという人がいるほど、鮮度や品質にはこだわっています。近年は外国産の榊が多く出回っており、品質が極めて高い国産の榊を求めて花屋さんをはじめ、全国の市場から訪ねていらっしやいます。生産量に限りがあるため需要に対して供給が追いついていないのが現状です。

今後の抱負や展望を聞かせてください。

市場からの引き合いはたくさんあるので、生産量をまだまだ拡大しなければならぬと考えています。平成24年には津和野町全域、平成27年に

榊 (さかき) 一口メモ

「木」に「神」と書いて榊(さかき)。神道で古くから関わりがあるとされる常緑樹で、常に生い茂っている木のため「栄木(さかき)」、神と人との境界を示す意味もある「境木(さかいき)」というのが語源とされる。毎月1日と15日に神棚の榊を変える習慣のほか盆や正月、お彼岸等の特需など、1年を通して安定的な需要があることから、集落では年150万円前後の収入が見込める副職として榊の生産を積極的に勧めている。商人地区での榊栽培の最高齢者は88歳と91歳の夫婦がいるほか、近年に参入した20代の生産者が出荷量を増やすなど、個人の状況やライフスタイルに合わせて榊生産を有効に活用するデザインが注目を浴びている。



「凜とした」という表現が正しいかどうかは別として、こんな綺麗で立派な榊を見るのは正直初めてでした。「本物」という言葉がふさわしい。



田中組合長(左)と研修生の中川峰さん(右) 中川さんをはじめとした若手が商人イズムの継承者として榊栽培に取り組みだしている。

農と合わせて副職として榊の栽培を勧めています。私自身は6年前に荒茶の生産を辞め、山菜と榊の生産に切り替えました。限界集落といわれた商人地区は昔からチャレンジャー精神が旺盛な土地柄です。変わりゆく時代に柔軟に対応し、地域の農業が途絶えないよう努力を続けています。

チャレンジ / 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

JAは地域の活性化に取り組んでいます！

JAは農業だけではなく、JAならではの取り組みで「地域の活性化」に貢献しています。

〔食農教育〕▶▶▶▶

代表的なものに「食農教育」があります。子どもたちはもちろん大人にも、「食べる」という行為そのものだけでなく、その背景にある「いのち」や農業の果たす役割をお伝えすることに大きな特徴があります。農業体験学習などを通じて、土に触れる楽しさや収穫の喜びを味わうだけでなく、農家の苦勞を知り、自分の住む地域の魅力や地産地消の意味を学ぶ絶好の機会になっています。



ホームページで TVCM
「愛菜カレー」編を公開中！



◀◀◀◀ [JA女性部活動]

女性部の活動も、食と農を通じて地域を元気にする取り組みにつながっています。各地域の伝統料理を学び伝える講座や、健康教室、趣味のサークルなど幅広く活動しています。また、一般教養や料理講座などを年間のカリキュラムで学ぶ「JA女子大学」も人気で、若い女性を中心に生き生きと活動しています。

元気な女性たちが、多方面の活動に加わることで地域に活力が生まれ、活性化につながっています。

理事会情報 (11月29日開催)



- 協議事項
- ①平成30年度しまね農業生き生きプランの承認について
 - ②第2次農業戦略実践3カ年営農計画（2019～2021年）の策定について
 - ③信用事業にかかる平成31年度からの事業運営モデルの選択について
 - ④平成30年度末決算見込み（1次）について
 - ⑤JAしまね中間期ディスクロージャー誌2018の作成について
 - ⑥次期中期経営計画（2019～2021年度）策定の進め方について
 - ⑦役員選考について
 - ⑧年間所定内労働時間の統一について
- （紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

地区本部トピックス

雲南

飯南町無人航空機運営協議会 ドローン免許新たに4人取得し体制強化

飯石郡飯南町にある同町無人航空機運営協議会は、無人ヘリコプターやドローンを使った水田防除に取り組んでいます。12月10日から14日に行われた免許講習会では、農業用マルチローター（ドローン）の技術認定証を新たに4人が取得し、来シーズンに向けて体制を強化しました。

今年7月に同協議会のメンバーでもある松江市の株式会社SWIFTが、県内初の農林水産航空協会認定の教習所、整備事業所として認定されたことを受け、分校開催として同町で講習会を開きました。

今年は町全体と雲南市の一部、約900㍍で散布。高齢化が進み防除面積が年々増加する中、作業者の負担を軽減するために拡充を図りました。

来年はヘリとドローンの免許取得者16人で作業を進めていく予定です。新たに免許を取得した同町の藤原翔太さん（20）は「地域の皆さんの力になれるよう頑張りたい」と意気込みます。



免許講習会でドローンを操作する藤原さん

くにびき

店舗のイメージや窓口の対応、 職員の身だしなみを競う 美粧化コンクール実施

くにびき地区本部は12月6日、支店・店を巡回し、店舗内外の明るい雰囲気や接遇、職員の身だしなみなどを審査する「店舗美粧化コンクール」を実施しました。

同コンクールは各支店・店の創意工夫で、親しみやすく安心感があり、来店したくなるような明るい店舗作りを目指し開催しています。

当日は、12名のJA職員と4名の女性部の部員が審査員となり、4班に分かれて巡回しました。

審査員は「店周・外観」、「ATMコーナー」、「店内」、「身だしなみ・接遇」について審査し、上位3支店・店を選出。1位にはキャンペーンなどを効果的にPRし、気持ちの良い挨拶をしていた川津支店が選ばれ、法吉支店、宍道支店と続きました。

審査員を勤めた女性部東出雲支部の森口順子支部長は「それぞれの支店・店で工夫がされていた。明るく挨拶をされる支店には、また来店したくなった」と評価しました。



店内をチェックする審査員

隠岐

平成30年度果樹剪定講習会を開催

隠岐地区本部は12月13日（木）に、平成30年度果樹剪定講習会を開催しました。

果樹剪定講習会としては、昨年に引き続き2回目の開催となり、隠岐農産物生産者協議会の会員を中心とした島内の生産者32名が参加しました。

当日は島根県農業技術センターより2名の方に講師として来島いただき、栽培や剪定のポイントなどをわかりやすく説明していただきました。

あいにくの雨の中での開催となりましたが、参加者からは剪定についてはもちろん、普段の管理や実際に被害のあったみかんを例にした病害虫の防除についてなど多くの質問があり、とても有意義な講習会となりました。



やすぎ

新たな担い手誕生

やすぎ地区本部は11月21日、やすぎ担い手支援センターで新規就農者実践研修修了式を開催しました。イチゴが特産の安来市で、新たに2人の担い手が誕生しました。式には県や市、指導農業士ら約20人が出席し、研修生2人の修了証書授与と激励を行いました。

研修を修了したのは、大阪府出身の山下勇人さんと神奈川県出身の大森雄介さんで、2人は島根県で農業がしたいと1ターンを選びました。特産であるイチゴを研修品目として、平成28年から市の新規就農研修事業で、指導農業士の池田憲司さんと野島年光さんの下、それぞれイチゴ栽培などを学びました。その後平成29年から今年8月まで、同センターで栽培全般と収穫などの実践研修を3,000時間弱行いました。

同センターは2012年の開設以降、今回の2人を含め11人の修了生を送り出しています。



大森さん（前列中央右）と山下さん（前列中央左）

斐川

組合員学びのひろば 「防災を学ぼう！」

斐川地区本部は12月3日、自然災害などの緊急時に対応できるよう「防災を学ぼう!」と題してセミナーを開催しました。始めにJA職員が、家の光記事からアウトドアコードを使用した「防災プレスレット」を紹介説明し、参加者が作りました。続いて、日本赤十字社島根県支部より2名の指導員を講師に招き、風呂敷で作る「リュックサック」、1枚のタオルケットや毛布を利用した「ガウン」、リラックス効果のある「ホットタオル」の作り方など、災害時に役立つアイデアを教わりました。また、貴重な水を有効利用したお米の非常炊き出し方法なども学び、参加者は質問等を交えながら真剣に取り組んでいました。企画した組織広報課の周藤課長が「日々の備えが大切、今回の研修を万が一のときに活か

かしていた
きたい」
と総括し、
防災意識の
高まったセ
ミナーとな
りました。



タオルケットを利用して作った「ガウン」

石見銀山

第4回JAしまね石見銀山地区本部 家の光大会

石見銀山地区本部は12月8日、大田市大田町の島根県立男女参画センター「あすてらす」で、第4回JAしまね石見銀山地区本部「家の光大会」を開催しました。

JAしまね石見銀山女性部、JA役職員、一般の家の光愛読者210人が参加し、公演や「みどりをまもる小学生作文コンクール」受賞作文の発表など数々の催しを楽しみました。

公演では、JAしまね出雲女性部塩冶支部「えんまん座」がユニークな寸劇やダンスを披露し、会場を大いに沸かせました。

その後は、JAしまね女性部が主催する「みどりをまもる小学生作文コンクール」で島根県知事賞を受賞した大田市立池田小学校6年の藤原大和さんによる作文の朗読や家の光記事活用体験発表、ふじの会の日本舞踊、川合支部のフォークダンスなどのアトラクションが行われました。



ダンスを披露する女性部川合支部

隠岐
どうぜん

来店感謝デー開催

師走の年金支給日12月14日(金)に毎年恒例になった来店感謝デーを実施しました。

当地区本部3支店の統一粗品として、JA海士町農産加工場で海士町産もち米を使用して製造した「紅白餅」を日頃の感謝を込めて来店者にプレゼントしました。また西ノ島支店では、この時期利用者のみなさまからのご要望と評判の高い「石焼き芋」を早朝から準備しました。グリーンストア(西ノ島)では歳末商品と直売野菜などの「割引歳末大売出し」を同日開催し、多くの方に来店いただきました。有難うございました。



出雲

タオル1人1枚運動 JAしまね出雲女性部

JAしまね出雲女性部が、「タオル1人1枚運動」で集めたタオル3,500枚を出雲市の高齢者福祉施設「みどりの郷」4施設へ寄贈しました。11月29日には贈呈式を行い、同女性部の高野智子部長と三原洋子河南地区長が「みどりの郷 湖陵」の吉井忠夫施設長にタオルを手渡しました。

部員から自宅で眠っている未使用のタオルを集めて福祉施設に寄贈する運動で、今年初めて企画したものです。発案した高野部長は「多くの部員が参加しやすく、皆さんの役に立てることはないかと考えた。部員の力が集まれば、1人1枚でもすごい枚数になる」と話しました。

JAしまね出雲地区本部の職員や、同地区本部の関連会社にも呼びかけ、7~9月の3ヶ月間で約4,500枚を収集。そのうち1,000枚は、7月の西日本豪雨で被災したJAしまね島根おち地区本部管内への支援として贈りました。



高野部長(右奥)と三原地区長(右手前)から吉井施設長へ贈呈

西いわみ

購買店舗をリニューアルしました。

西いわみ地区本部は11月30日、益田市美都町の購買店舗「ラーバン」をリニューアルし、「YショップJALしまねラーバン」としてオープンしました。

業務運営は、同町で温泉施設などを運営する(株)エイト(青木正美代表取締役社長)が担い、地域の皆さんの生活を支えます。全農と提携関係にある山崎製パン(株)の地域密着型店舗形態「Yショップ」を活用した事業展開と(株)エイトが掲げる地元経済の活性化と地域住民の生活を守る取り組みとが合致すると考え、「Yショップ」へ業態転換することを決めました。

ヤマザキオリジナル商品に加え、地元生鮮食品や農産物加工品、JAブランド品も従来通り取り揃えています。

オープニングセレモニーでは、青木社長が「新店舗は生活を守る大事な店。この店が末永く発展するようがんばりたい」と抱負を述べました。

田村清己本部長は、「食と農の安全を目指し地域に貢献できる店舗となるよう支援したい」とエールを送りました。



本店

女性大会、家の光大会 大盛況!

JAしまねとJAしまね女性部は12月5日、出雲市のラピタウェディングパレスで「第36回JAしまね女性大会ならびに第20回島根県家の光大会」を開催しました。

やすぎ、石見銀山、いわみ中央の3地区本部の愛読者が発表した家の光記事活用体験発表では、「ふみだせ2歩!」と題し発表した、やすぎ地区本部の梶村純子さんが最優秀賞を受賞しました。介護現場で働く梶村さんは、家の光記事を活用した介護予防に繋がる講座を企画。最初は1人だった参加者も徐々に増え、今では年間教室に発展した様子を発表しました。梶村さんは来年2月に神奈川県横浜市で開催される「第61回全国家の光大会」に県代表として出場します。

各女性部が練習を重ねて発表したグループ活動では、ス Copp 三味線やベリーダンス、ファッションショーなどを披露。最後には隠岐どうぜん女性部による「キンチャモニャ」を会場全員で踊り、盛況のうちに閉会しました。



最優秀賞を受賞した梶村さん

島根おおち

地元の味覚を全国へ「味の絆」

島根おおち地区本部では、毎年お歳暮時期に合わせて取扱う『味の絆』の発送が12月4日より始まりました。

この「味の絆」は、管内の農畜産物と加工品を贈答用品として取り扱うことで、管内農畜産物の質の向上を目指すとともに、地元の味覚を全国に味わってもらおうと行なっているもので、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地に発送しています。取扱う商品は、人気の石見和牛肉のすき焼きセットや管内加工場で製造したきねつき餅の他、島根おおち地区本部で振興に取組む特別栽培米「石見高原ハーブ米こしひかり」、「石見高原ハーブ米きぬむすめ」、石見高原ハーブ米コシヒカリを原料とした純米酒「^{ゆうか}邑華」など15種の商品を取扱っています。今後もより多くの方にふるさとの旬の味をお届けできるよう、販売数増加を目指し取り組みを行ってまいります。

今年度の取扱いは、12月21日(金)の発送をもって終了となりました。



いわみ中央

産直の加工品を増やそう!

JAしまねいわみ中央地区本部産直振興協議会江津支部は11月21日と28日の両日、会員を対象に加工品に関する研修会を開催しました。この研修は、所得向上に向け季節の農産物に付加価値をつけることを目的に、基本的な加工技術を習得するもので、会員は地区本部管内の産直の加工品をもっと増やしていこうと真剣に研修に参加しました。

前半の研修は漬物・ジャム類の加工の基礎的研修で、講師の生田千枝子アドバイザーより、漬物に関しての保存方法や殺菌方法等の説明を聞きました。併せて浜田保健所職員を講師に、表示研修も行いました。後半は実習として、ピクルスやジャムを作り、ビン詰め殺菌方法などを学びました。

会員は、「漬物を出荷する場合、保健所の許可も必要になってきて、より安全安心を求められてきているが、今日は殺菌方法等具体的な指導を受け勉強になった。質の高い商品を出荷するためにも、このような研修の定期的な開催を望む」と話していました。



営農第一課から TEL 73-9616

水稲

土づくりについて

こんな土は赤信号!

- ・作土が浅く、土が硬くなっている
- ・排水・透水性が悪い
- ・毎年収量が上がらない。収量変動しやすい。
- ・秋落ちを起こしやすい。
- ・ごま葉枯病等の病害を起こしやすい。

土づくりは異常気象に負けない米づくりには必要不可欠です。近年、秋落田(ごま葉枯病の発生)が多く散見されます。これは、地力(主に鉄分・けい酸)の低下が主な原因で発生します。

また、土づくりを実施された場合は1等米が多い傾向となることから、土づくりを実施しましょう。

○ミネラルG: 200~300kg/10a

けい酸・鉄分・苦土・りん酸・その他有用ミネラルを補給

○牛糞堆肥: 1t~2t/10a

保肥力・保水力を高め、生産力の安定と強化地力向上を図る。

※牛糞堆肥は連用することにより効果は高まります。

耕耘については、できるだけ深耕を心掛けるようにしてください。

作土層が深いと養分貯蔵量が多くなり、気象に左右されにくい効果があります。ただし、一度に深耕すると上層の富んだ土が攪拌されることになるので、徐々に深くするようになってください。

○アグリ革命: 1000ml/10a(液剤) 2kg/10a(粒剤)

稲わら腐熟促進、酵素の力で分解、うきワラ・ガスわきの減少
田植え1ヶ月前まで散布できます

アグリ革命とミネラルGを一緒に使用することで効果的に地力の維持、向上が行えます。(アグリ革命を使用したほ場で耕耘する際は、浅く行うことより効果的です。)

用語説明

○秋落水田とは?

水稲の生育過程において、生育前期の生育は旺盛にもかかわらず後期に生育不良となって、下葉の枯れ上がりが多くなり、ごま葉枯れの斑点を生じ、穂も小さく収量が上がらない現象の水田を言います。

大麦

◆生育前半は適度な降雨と日中の気温が高く、生育が進んでいる状況です。葉色が淡いほ場もありましたが、分けつ肥の施用により全体的に葉色もやや濃く、分けつも多いところでは3~4本確認出来ています。まもなく幼穂形成期を迎えます。効果的な穂肥のため、作業計画・排水対策を徹底しましょう。

◆穂肥の施用

左記の点に注意し穂肥をしましょう。

○施用時期の目安

幼穂長5~8mm(1月下旬~2月上旬)

天候によつて生育が大きく左右されます。

幼穂長を確認し穂肥を行ってください。

○施用量

ほ場全体の葉色が濃く、分けつが十分確保されている場合

① 硫安入NP化成 15kg/10a

ほ場全体の葉色が淡く、分けつが確保されていない場合(播種深度が深い、湿害を受けている場合)

① 早急に硫安入NP化成 10kg/10a

② 幼穂長が2~5mmの時期に硫安入NP化成 10kg/10a

◆排水対策の徹底について

排水対策は大麦を栽培する上で基本的かつ最重要なことです。ので左記を参考に排水を万全にしてください。

排水の点検・手直しのポイントについて確認してください。

□ 停滞水はないか? (雪解けの水は特に滞水しやすいので注意!)

□ 排水溝が土で埋まっているか?

□ 排水溝から排水しているか?

排水対策が不十分のまま穂肥を施用しても根が痛んでいるため、肥料を十分に吸収することができません。

30年産共同乾燥施設の玄米重量確定(単位:kg)

| 品 種 | 生籾重量 | 推定精選籾重量 | 推定玄米重量 | 確定玄米重量 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ハナエチゼン | 248,369 | 183,970 | 147,166 | 157,890 |
| コシヒカリ | 228,335 | 157,213 | 123,401 | 140,550 |
| きぬむすめ | 3,642,518 | 2,590,865 | 2,072,555 | 2,235,240 |
| つや姫 | 2,100,411 | 1,491,503 | 1,170,738 | 1,270,830 |
| 合 計 | 6,219,633 | 4,423,551 | 3,513,860 | 3,804,510 |

◆確定売渡玄米重量 = 確定玄米重量 - 飯用米重量

推定玄米重量で一次払をしていますが、確定増量処理後の確定売渡玄米重量に対して、差額を二次払しております。

平成30年産島根米の追加金単価について

平成30年12月21日開催のJAしまね理事会において、下記のとおり買入金の追加金単価が決定しました。(単位:円(税込)/60kg)

| 品種・銘柄 | 1~3等 |
|--------------------|------|
| コシヒカリ | 400 |
| きぬむすめ | 400 |
| つや姫ST(特別栽培米) | 400 |
| ハナエチゼン | 500 |
| もち米(契約もち、その他もちも同額) | 200 |

※コシヒカリ、きぬむすめ、つや姫の上区分も同額。
※うるち米はJAしまね米を基準とし、一般米は一律100円。

○追加金振込日 平成30年12月27日(木)

資材課から

TEL 73-9619

使わなくなった農薬の有料回収を実施します

回収日時 平成31年1月29日(火) 午前9時～11時

※時間外の回収はいたしません

回収場所 JAしまね斐川地区本部出東倉庫(出東支店東側)

回収料金 1kg当たり ●一般農薬(毒劇含む) ……500円(税込)
●不明農薬 ……………1,500円(税込)



回収に関する取り決め事項 【必ずお読み下さい】

- ◎必ず、**一般農薬(毒劇含む)**と**不明農薬**に仕分けをして、袋・容器のままダンボールに入れて搬入して下さい。(仕分けがしてない場合は回収できません)
- ◎持込みの際には**産業廃棄物運搬車表示板**が必要です。
- ◎お申込みは、今月号に折込みしてある「委任状」を事前に提出して頂く必要があります。詳しくは、今月の折込みをご覧ください。

組織広報課から

TEL 73-9605

出来る男子は厨房に立つ。

男の料理教室



内容：
イカをさばいて男らしく料理します。

日時／2月22日(金) 18:00～20:00
場所／JAしまね斐川地区本部 別館料理教室
「ひかわめぐりキッチンふぁみーゆ」

講師／藤原魚店 藤原健一氏
参加費／¥300(材料費込)

◆三角巾、エプロン、包丁(出刃、刺身)をお持ちの方は、当日ご持参ください。

定員
15名

お申し込み・お問い合わせ

JAしまね 斐川地区本部 組織広報課
TEL (0853) 73-9605
FAX (0853) 73-9623
Mail: kouhou.hik@ja-shimane.gr.jp

♪ 月24時間いつでもあなたのそばに♪

介護福祉だより

お問い合わせ 介護センター ☎73-9635 デイサービスセンターつつじ園 ☎73-7314

デイサービスセンターつつじ園

十二月四日、今年も神庭から、蕎麦を栽培していらつしやる四名の方に「蕎麦打ち」に来て頂きました。男性四人で力強く蕎麦をこねられるのを、利用者の皆さんは間近でじっくりと見ていらつしやいました。教えて頂きながら皆さんにも蕎麦を切って頂き、美味しい蕎麦が出来上がりました。「子供の頃に母親が蕎麦を打っていたのを見ていた」、「蕎麦打ちは初めて見ました」などと話され、和やかな雰囲気の中で昔話に花が咲きました。お昼には「打ちたて、茹でたて」の蕎麦を召し上がって頂き、来年も皆さんが健康でありますようにとご祈念しました。

十二月十三日・十四日は「クリスマスケーキ作り」をしました。たこ焼き機でホットケーキを焼き、カップにココロコト入れ、クリームやチョコレートで飾って出来上がりました。皆さん手際よく作られ、見た目も可愛く飾られ、美味しそうなクリスマスケーキが出来ました。

今年も、直江コミュニティセンターの「ひまわりグループ」様から、つつじ園の利用者の皆さんへ、みかん二箱を頂きました。十月に行われた文化祭のパザールの収益金の一部でご寄付を頂き、午後からは頂いたみかんを皆さんに召し上がって頂きました。「ひまわりグループ」の皆様、ありがとうございました。



笑がお健康教室

笑がお健康教室の十二月は「絵手紙作り」や「年忘れ！お楽しみレクリエーション」を行いました。レクリエーションの「叩いて被ってじゃんけんポン」では、皆さんキヤーカーと悲鳴が上がるほどの大盛り上がりで、賑やかに一年を締めくくりました。



我が子自慢・孫自慢

元気で大きくな～れ！みんな仲良くね～。そげしたら、じじとばばははずんがええわあ～

投稿者 出西地区 陰山美和子さん



左から 石飛^{とうき}柁^{よしき}輝^{まさき}ちゃん(10カ月) 竜^{りゅうき}輝^{まさき}ちゃん(10歳)
佳^{よしき}輝^{まさき}ちゃん(3歳) 真^{まこと}輝^{まさき}ちゃん(6歳)

大募集!! 「我が子自慢・孫自慢」

あなたの撮った写真を掲載してみませんか?
プロ・アマ問いません。



応募先

JALまね斐川地区本部 組織広報課
〒699-0593 出雲市斐川町莊原2172-3番地
☎73-9605 Eメール:kouhou.hik@ja-shimane.gr.jp
※写真にはコメント、住所、お名前、連絡先を付けて応募して下さい。

JA
女性部
通信

女性の元気でいきいきJA



＊おいしいこんにやくが出来ました。



12月25日にひまわりグループの部員で毎年恒例のこんにやく作りを行いました。16名が参加して15キロのこんにやく芋で作りました。生芋を細かくして水と一緒にミキサーにかけてものを鍋に入れ、粘りが出て艶がでるまで糊がきをします。仕上げに炭酸ナトリウム

を入れ手早くまぜた後型に入れ、冷めたら切り分け20分茹でて完成させました。皆さん「買ったものとは食べ応えが違う。刺し身にして食べると最高です。」「お正月料理にも使いたい。」などと話されていました。



JA
女性部
活動予定

新規加入 大歓迎!!
待っちょ～よ!

| | | | |
|----------|------------|------------------|--------|
| 1月21日(月) | パッチワークグループ | ひかわあぐりキッチン ふあみーゆ | 9:30～ |
| 1月21日(月) | 絵てがみグループ | ひかわあぐりキッチン ふあみーゆ | 13:30～ |
| 1月24日(木) | 書道グループ | ひかわあぐりキッチン ふあみーゆ | 9:30～ |
| 1月24日(木) | 手芸グループ | ひかわあぐりキッチン ふあみーゆ | 13:30～ |
| 1月30日(水) | ひまわりグループ | ひかわあぐりキッチン ふあみーゆ | 9:00～ |
| 2月 5日(火) | ちぎり絵グループ | ひかわあぐりキッチン ふあみーゆ | 9:30～ |
| 2月13日(水) | いきいきグループ | ひかわあぐりキッチン ふあみーゆ | 10:00～ |

JAひかわ女性大学

JA HIKAWA Women College

参加者募集



興味のある方集まれ!! (各テーマとも定員あり)

簡単にできる
お菓子作り

日時：平成31年2月14日(木) 9:30～12:00
場所：ひかわあぐりキッチン ふあみーゆ
内容：みんなで作って楽しくティータイム!
参加費：500円

申込み締切り / 2月7日(木)

すぐに役立つ
書道教室

日時：平成31年3月14日(木) 9:30～11:00
場所：ひかわあぐりキッチン ふあみーゆ
内容：身近な金封の書き方を、筆ペンを使い教わります。

参加費：500円 申込み締切り / 2月28日(木)

＊おおむね50歳までの女性の方を対象とさせていただきます。

＊JAしまね斐川地区本部管内在住もしくは勤務されている方 ※参加人数が少ない場合は中止することがあります。

詳しいお問合せ、申込みは、組織広報課 (TEL 73-9605) まで

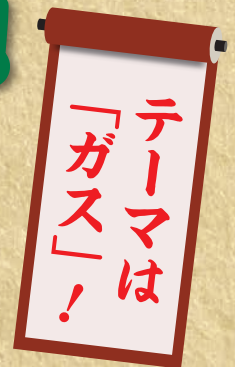
ガス住宅課から

TEL 72-3304

「ガス川柳」入選作品発表!!

たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。

いつもJAしまねのLPガスをご利用いただきありがとうございます。
このたびご応募いただいた273作品の中からの最優秀作品を発表
します!たくさんのご応募、ありがとうございました。



おめでとう
ございます!



※この他の入選作品は、賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。

最優秀賞

| | | |
|--|---|--|
| <p>ガス釜に グルメの舌が 満足げ</p> <p>出雲地区本部 朝日山 巍さん</p> | <p>この味は ガス釜ですと 自慢され</p> <p>斐川地区本部 「ペンネーム」ガス太郎さん</p> | <p>青い火が きれいに並ぶ おでん鍋</p> <p>おおち地区本部 山形ゆうきさん</p> |
|--|---|--|

お問い合わせ JALしまね 自動車燃料課 ☎0853-25-8904

ウィル給油所から

TEL 73-9626

灯油等の予約配送について

配達日時 AM9:00～PM5:00
(土日祝祭日を除く)

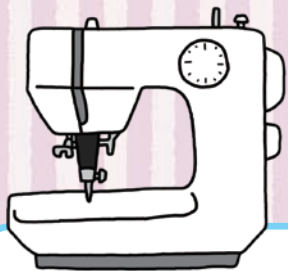
受付時間 AM8:00～PM5:00
(原則、翌日以降の配送となります)

※突発の配達につきましても出来る限り対応いたしますが、予約配送を優先で行いますのでご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



生活課から

TEL 73-9622



ミシン展示即売会

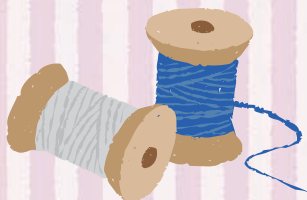
お見積り・出張費は無料ですのでお気軽にご相談ください

ミシン修理受付中

日時 1月26日(土) 27日(日) AM9:00～PM5:00

場所 JAしまね斐川地区本部 営農総合センター

主催 JAしまね斐川地区本部 生活課



アグリサービスから

TEL 73-9616

職員募集のお知らせ



(有)JA斐川アグリサービスでは
正職員または契約職員を募集しています。

仕事内容

穀物等の荷受・乾燥調製及び
カントリーエレベーターの機械オペレーター業務

就業場所

黒目カントリーエレベーター

必要な資格

普通自動車運転免許
フォークリフト運転技能講習修了者は採用時優遇



◎応募前に職場見学もお受けいたします。また、詳しい就業時間、賃金等の
労働条件も見学時又は見学後でもご説明いたします。

募集についてのお問い合わせはこちらまで

(有)JA斐川アグリサービス 総務担当 池淵 または 福島まで

TEL 0853-73-9616 FAX 0853-73-9074

E-mail hikawace@dune.ocn.ne.jp



資金課から

TEL 73-9609

年金個別相談会のお知らせ

年金について疑問・質問はありませんか！

大切な年金です！これから年金をお受取りの方、すでに年金をお受取りの方は是非ともお越し下さい。



- ☆私の年金はいつからもらえるの？
- ☆年金額は増やすことができるの？
- ☆加給年金ってなに？もらえるのはどんなとき？
- ☆障害年金・遺族年金について聞いてみたい など

日時場所 平成31年2月5日(火)

13:30~16:00 伊波野支店

17:00~19:00 斐川地区本部営農総合センター

お問い合わせ・ご予約先 資金課 TEL 73-9609

ご持参いただきたいもの

- ねんきん定期便
- 年金請求書
※日本年金機構から送付された方
- 年金手帳(ご本人、配偶者)
- 年金証書(ご本人、配偶者)
※すでに受給しておられる方
- 雇用保険被保険者証
- 印鑑
- 厚生年金基金加入員証
※加入したことがある方

当日はセミナー形式ではなく、個別相談形式で行っています。ご予約をいただきますとご希望の時間帯にて相談をお受けできます。またJAでお取引のない方もぜひお越しください。当日はささやかなプレゼントをご用意しております。

現金自動化機器(ATM)稼働休止について

この度、伊波野支店に新現金自動化機器(ATM)を設置することになりました。新ATM設置にあたり、事前の作業が必要となります。その作業のためATMを一時休止させていただきますので、お知らせ致します。

なお、他の斐川地区本部内ATMにつきましては、平常通り稼働しておりますのでそちらのATMをご利用下さい。

大変ご不便をお掛け致しますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

稼働休止日・休止時間

- 伊波野支店
平成31年2月5日(火)
8:45~14:00

グリーンセンターから

TEL 73-9070

野菜等出荷者協議会新規会員説明会

とき 平成31年1月23日(水)14:00~

ところ JA斐川地区本部 営農総合センター

内容 ・出荷者協議会の会員になるためには
・活動内容についての説明



皆さんお気軽にご参加ください!!

※会員資格は男女問いません

ご自宅でできた自慢の野菜・花・果物などを、自分のペースで出したい時に出しながら、仲間と楽しく元気に活動しています。

旅行センターから

TEL 73-9625

JAしまね 斐川地区本部 年金受給者日帰り旅行

蟹取県に改名した鳥取で食べる!!

18品のかに料理を使った 蟹3杯分のフルコース

日帰りの旅



旅行実施日
平成31年2月22日(金)

旅行代金
13,800円
(年金振込者
予約者会員)
9,800円

6品のちょっぴりプレゼント付き

- ① 二十世紀梨スイートサンド1個
- ② 梨ゴーフレット1枚
- ③ 因幡の白兔1個
- ④ かに茶漬け1枚
- ⑤ 焼きあご1個
- ⑥ かにせんべい1枚

※この旅行は年金受給者以外の方もご参加いただけます
※旅行代金には諸税・サービス料が含まれております。

申込金 3,000円 (旅行代金に充当)

添乗員 同行いたします。

食事条件 朝食0回、昼食1回、夕食0回

募集人員 120名 (最少催行人員35名)

申込締切日 平成31年2月5日(火) ※但し満員になり次第、締切ります。

利用バス会社 一畑バス

| 行程【○入場観光、▲買物】 | | 食事 |
|---------------|---------------|----|
| 斐川地区本部管内 | 道の駅大栄 | |
| 7:30~8:00 | 休憩 | |
| 中国地方屈指の明治建築 | カニ3杯分フルコースの昼食 | ○ |
| ◎国指定重要文化財 仁風閣 | 砂丘センター | ○ |
| 11:10~12:00 | 12:20~13:20 | |
| 海産物のお買い物 | 鳥取名物ふるしきまんじゅう | |
| ▲賀露港 中村商店 | ▲山本おたふく堂本店 | |
| 13:40~14:10 | 15:10~15:40 | |
| 到着 | | |
| 斐川地区本部管内 | | |
| 18:40~19:10 | | |

旅行条件(要約・国内) ※詳しくは旅行条件を説明した書面をお読みください。事前にご確認のうえお申し込みください。

当「プレゼント」の旅行は次の条件に基づきます。

- 募集型企画旅行契約 この旅行は旅業協賛観光(以下「当社」といいます。)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます。)を締結することになります。
- また、旅行条件は、下記に定めるほか、別途お送りする旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終旅行日程表と称する確定書面及び当社旅行契約募集型企画旅行契約の項によりします。
- 旅行代金には諸税・サービス料が含まれております。
- この旅行は「国内旅行損害保険」に加入しています。詳しくは、弊社社員へご確認ください。

| 取消日 | 取消料 |
|-------------------------------|-----------|
| 旅行開始日の前日より起算してさかのぼって11日前まで | 無 料 |
| 旅行開始日の前日より起算してさかのぼって10日~8日前まで | 旅行代金の 20% |
| 旅行開始日の前日より起算してさかのぼって7日~2日前まで | 旅行代金の 30% |
| 旅行開始日の前日 | 旅行代金の 40% |
| 旅行開始日当日 | 旅行代金の 50% |
| 旅行開始後・無連絡不参加 | 旅行代金の100% |

●変更 変更機種のスケジュール、気象条件、その他不可抗力による事由又通貨、料金の規定により旅行日程・旅行代金を変更する場合がございます。

●危険事項 天災地変、暴動、暴走、窃盗、盗難が事故発生もしくは火災のために生ずる旅行日程の変更もしくは、中止、高熱、食中毒、伝染病、自由行動中の事由によりお客様が傷害を受けられた場合は賠償の責任は負いません。

※この「プレゼント」の日程及び旅行代金は平成30年10月1日現在を基準としています。

お客様の状況によっては、当初の手配内容に含まれていない特別な配慮・措置が必要になる可能性があります。詳細は、「旅行取消条件説明書」の「3.お申込み条件」を参照のうえ、特別な配慮・措置が必要となる可能性がある方は、事前にお知らせいたしますので、必ずお申し出ください。

旅行企画・実施

NOKYO TOURIST CORPORATION

旅行業公正取引 協議会 会員
観光庁登録旅行業第339号

株式会社 農協観光

出雲営業支店 TEL 0853-21-3305

〒693-0001 出雲市今市町87(ラビタ本店2F) 総合旅行業務取扱管理者/三宅和剛

旅行のお問い合わせ・お申込み

(株)農協観光代理店

JAしまね斐川旅行センター

[Tel:0853-73-9625]

鳥根県出雲市斐川町荏原2172-3

鳥根県知事登録旅行業者代理店第17号

総合旅行業務取扱管理者:古川 由美子

JA事業に関するお問い合わせ

JAしまね斐川地区本部

荏原支店 出雲支店
伊波野支店 斐川中部支店
新川中央店 出雲支店

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご連絡の上上記の取扱管理者にお尋ねください。

総務課から

TEL 73-9603

斐川地区本部運営委員会情報 12月10日開催

報告事項

- ①平成30年産米販売進捗について
- ②貯金・貸出金実績について (平成30年11月末)
- ③斐川地区本部主要実績一覧表について (平成30年10月)
- ④JAまつり実績報告について
- ⑤斐川地区本部運営委員会視察研修について
- ⑥斐川地区本部役員改選について

斐川地区本部役員会情報 12月20日開催

(1)協議事項

- ①平成30年度随時監事監査回答について
- ②役員推薦委員および本店役員選考委員の選出について
- ③斐川地区本部運営委員選考基準および同選考方法内規の一部変更について

(2)報告事項

- ①平成30年産米販売進捗について
- ②貯金・貸出金実績 (平成30年11月末) について
- ③今週の金利について
- ④主要実績一覧表 (平成30年11月) について
- ⑤JAしまね各専門委員会の報告について

窓口セールスロールプレイング大会最優秀賞受賞

12月8日、出雲市のラピタウェディングパレスで、窓口担当者の知識向上と対応力、セールス力のレベルアップを目的に「窓口セールスロールプレイング大会」が開かれました。県下地区本部から10チームが競技し、



斐川地区本部の「みやさん51〈コイ〉」チームが最優秀賞に輝きました。表彰を受け選手たちは「この経験を窓口業務に活かしていきたい」と喜びを語りました。



自動車整備工場から

今月の特選車

TEL 73-9627

スバル サンバートラック

- 初度登録 H20年4月
- 次回車検 H32年4月29日
- 走行キロ 13,400km
- 車体色 ホワイト
- ミッション MT
- 4WD エアコン パワステ ラジオ



点検整備付

車両本体価格 **831,600**円 (税込) (諸費用別)

担当 山根、中浜、古瀬

タテのカギ



- ① 佐々木小次郎はとても長い物を使っていたとか
- ④ うわさが広がる際につくことも
- ⑦ 鉄道のレールの下に並べます
- ⑨ 人数を数えるときに使う言葉
- ⑩ パソコンのマウスのボタンをカチッと押すこと
- ⑪ 子羊の肉のこと
- ⑬ 3.14159……と続く円周一
- ⑮ 道端のこと。—— 駐車
- ⑰ 寝不足で目の下にできる人もいます
- ⑱ 小説家・尾崎紅葉の代表作「—— 一夜叉」
- ⑳ ショートケーキによく似合う赤い果実
- ㉑ マンションの—— 人さんにあいさつをして出掛けた

ヨコのカギ



- ① 雪を積み上げ、中を掘って作る雪室
- ② マージャンをするとき囲みます
- ③ 劇場の舞台や花道の地下にあります
- ⑤ 1日に1枚ずつ剥がすカレンダー
- ⑥ 起立！ ——！ 着席！
- ⑧ バレンタインデー、彼氏や夫へではなく知人や上司へ、感謝の気持ちを込めて贈ります
- ⑫ 足利尊氏が開いた—— 幕府
- ⑭ 片時もそばを離れません
- ⑯ 漢字で書くと浮塵子。稲の害虫です
- ⑰ 地面につちなどで打ち込みます
- ⑲ カクテルのベースに使う蒸留酒の一つ

二重マスの文字を A ~ D の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

| | | | | | |
|---|---|----|----|----|----|
| 1 | 7 | 11 | | 17 | 20 |
| 2 | | 12 | 15 | | |
| 3 | | 10 | | | |
| 4 | 8 | | | 18 | |
| 5 | 9 | 13 | | 19 | |
| 6 | | 14 | | | |

答え

| | | | |
|---|---|---|---|
| A | B | C | D |
|---|---|---|---|

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒699-0593 出雲市斐川町荘原2172-3
JAしまね 斐川地区本部 組織広報課「クイズ」係
平成31年2月5日（火）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆
「ゴママワシ」

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| フ | ク | ワ | ラ | イ | ス |
| ス | ウ | ジ | ケ | シ | キ |
| マ | マ | ユ | キ | ヤ | マ |
| コ | ト | ツ | ノ | マ | |
| コ | ウ | カ | シ | ナ | イ |
| | | イ | ニ | シ | ヤ |

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

けんこうさんぽ
健康散歩
JA島根厚生連

春の七草

年々、野草が生えているところは少なくなり、ホトケノザやゴギョウを見る機会も少なくなりました。しかし、スズナはカブ、スズシロは大根のことですから、これらはお馴染みの食材ですね。この時期はスーパーでも七草セットが売られています。無理に七草全部でなくても、身近なタイコン、カブなどでも良いです。自然に満ちた、体に優しい食材を毎日の食事に取り入れて、寒い日々を乗り越えましょう。

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。お正月はいかがでしたか？おせちにお雑煮、色々食べたか？飲んだり胃腸もお疲れ気味なのではありませんか。今回はそんな胃腸のお助けマン「七草粥」についてお話しします。『春の七草』を「1月7日朝に七草粥を食べる」と知っていても、由来や効果などまでは知らない人が多いのではないのでしょうか。『七草』とは、セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロを指します。これら七草が入ったお粥を食べると無病息災を願う、古くは平安時代から伝わる習慣です。清少納言の『枕草子』には、「七日の日の若菜を、六日、人の持て来……」という一文があります。正月6日から7日にかけての行事で6日の夜はヒイラギなどの刺のある木の枝や、蟹のはさみの様な尖ったものを戸口に挟んで邪霊を払い、七草叩きといって、叩きをしながら七草を包丁でたたき、粥を炊き込みます。7日の朝、歳神に供えてから家族で食べると万病を払うとされています。また、七草粥は日常の食生活に戻るひとつの区切りとなるほか、新年のちこそうで弱った胃をいたわり、野菜が乏しい冬にビタミン、ミネラルの豊富な七草で栄養のバランスを整えるという古人の知恵があります。

【七草の効用】
セリ：免疫力を高め風邪やインフルエンザを予防するビタミンA。疲労回復に効くビタミンB群。疲労回復を手助けするビタミンC。加えて鉄分も多く含まれているため、冷え性・貧血の症状を和らげます。
ナズナ（へんべん草）：セリ同様ビタミンA、B群、C、カリウム、鉄が含まれている他、カルシウムや亜鉛なども含まれています。
ゴギョウ（ハハコグサ）：実は詳しい栄養成分が分かっていないキク科の植物。しかし、咳やのどの痛みを和らげる作用があると言われています。

ハコベラ：タンパク質が比較的多く含まれ、ミネラルをはじめとした栄養に富んでいます。また、利尿作用のあるサポニン、止血作用のあるクマリンが含まれています。
ホトケノザ：高血圧の予防・胃腸の働きを整えるとされていますが、栄養、効能はあまり知られていません。
スズナ（かぶ）：胃腸の消化を助けるアミラーゼ、免疫力を高めるビタミンC、むくみを解消するカリウムが含まれます。
スズシロ（大根）：スズナ同様、胃腸の調子を整えるアミラーゼ、ビタミンCが豊富で、肌を若くしく保つ効果も。また、食物繊維も豊富で便秘の解消に効果があります。

組合員の皆様へ

備えて安心。いつでも便利。クミアイ家庭薬です。

クミアイ 家庭薬 のしくみ

- 1 **まずは薬箱をご自宅に**
いつでもご利用可能な薬屋さんの完成です。
- 2 **定期的に配置員が訪問します**
知識豊富な配置員が丁寧に対応いたします。補充とご精算もこの時に。
- 3 **お薬は使った分だけ後払い**
お薬の代金はご使用分のみのご精算です。他に代金は発生しません。
- 4 **配置する内容は自由に選べます**
70種類以上の品揃えの中から、ライフスタイルに合ったものを。

— 担当の配置員が配置箱の設置と薬の補充に伺います。 —

シニア世代の
アクティブ生活を
おいしくサポート!

Kyoyaku 毎日おいしく
グルコサミン

500ml(約16日分) **1,800円(税抜)**



お好みで
うすめて
飲む



お問い合わせ先



協同薬品工業株式会社 島根営業所

〒699-0641 島根県出雲市斐川町美南1655
TEL 0853-73-7430



JALしまねは、出産・育児を応援します!

JALしまね

出産・育児コミュニティ

JALしまね

こども 倶楽部



お申し込みは
こちらからから



入会金
年会費
無料

平成30年度 **会員募集中。**

対象 島根県在住でご妊娠中の方

会員期間 ご入会日からお子様の1歳の誕生日末日まで

募集期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

★下記、特典01から03については最寄りのJA支店よりご自宅までお届けします。
(郵送での対応は行っておりません。)

特典01



ご加入時に
**オリジナル
限定品プレゼント**

特典02



ご加入から
ご出産まで
**たまごクラブ
お届け**

特典03



ご出産時に
**記念品
プレゼント**

特典04



各種 **お役立ち
情報お届け**

●会員専用アプリによる情報提供
●子育て・地域に関する、お得で楽しい情報を「こども倶楽部通信」でお届けします。

特典05



お子様が
満1歳になるまで
ワクワクする
イベントご招待

※特典03の内容は、各地区本部により異なります。詳しくは、該当のJALしまね地区本部窓口にお問い合わせください。

和風もちピザ



もちもちの食感のおもちをピザ生地代わりにします。佃煮の塩分とチーズの塩分で味付けはしなくてもおいしく食べられます。フライパンでもいいけど魚焼きグリルでもできます。佃煮は生姜、しじみなど好きな佃煮でどうぞ。

●材料 (2人分)

| | | | |
|-------------------|------|-------|--------|
| もち | 4個 | ピザチーズ | 適量 |
| 玉葱 | 1/4個 | サラダ油 | 大さじ1/2 |
| 佃煮 (生姜、しじみなど好みの物) | | もみのり | 適量 |
| | 大さじ2 | | |

●作り方

- ①フライパンに油を入れ熱くなったら餅を並べ、弱火でフタをして焼く。
- ②ふっくらと膨れて焼けたら裏返し、両面を焼く。
- ③フライ返しで押し、もちを広げる。
- ④玉ねぎスライス、佃煮、ピザチーズを乗せフタをして3～5分蒸し焼きにする。
- ⑤もみのりを乗せる。

かまぼこチヂミ



お正月も終わり、お節の蒲鉾が残っていませんか。海鮮で作るのがおいしい、韓国料理のチヂミ。新鮮な魚から作られたかまぼこのチヂミおいしいですよ。

●材料

| | | | |
|---------------|------|-----|-------|
| かまぼこ (お正月の残り) | 適量 | 卵 | 1個 |
| にら | 1束 | 水 | 120cc |
| 人参 | 1/3本 | ごま油 | 大さじ1 |
| 小麦粉 | 100g | ポン酢 | 適量 |
| 片栗粉 | 40g | | |

●作り方

- ①かまぼこは5mmぐらいにスライスする。にらは、3cmの長さ切る。人参は千切りにする。
- ②ボールに卵、水、小麦粉、片栗粉を入れ混ぜ、ダマがなくなったら、かまぼこ、人参、にらを入れ混ぜる。
- ③フライパンを熱くして、ごま油を入れ②の生地を流し入れ焼く。両面を焼いたら、ポン酢をつけていただく (②の中にキムチを入れ焼いてもおいしい)。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は津和野町の太鼓谷稲成神社です。日本五大稲荷のひとつに数えられているこの神社では、全国でも珍しく「いなり」を「稲成」と表記します。「成」には、津和野藩主亀井矩貞公の思いにより、願い事が叶うようにとの意味が込められていると言われていました。多くの参拝者が訪れ、特に正月は毎年数十万人の参拝客で賑わいます。

編集後記

明けましておめでとうございます。編集一同まだまだ正月ボケが抜けきっていませんが、様々な情報をお届けする「JAしまねびより」を本年もよろしく願いたします。今月の特集は、お正月らしく「榎」を取材していますので是非ご覧ください。(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

